

課題解決に資する提案等まとめ

〔区の特徴〕

- 日常生活に自転車が切り離せない／平坦な土地で利用しやすい。台数が非常に多い。(1家庭で複数台所有するケースも多い)
- 多様な区民の存在／転入者と従来からの住民、多世代、外国人、障がい者など→相互の理解が今後のまちづくりのカギ、特定の層を悪者にしない。
- 短時間利用(買物など)の自転車(駐輪)対策が課題／対応に苦慮。商店街にも配慮した対策が必要。(路上陳列等と併せて対応)

検討のポイント

- ・区の特徴や現状(中原区らしさ・特徴)
- ・緊急性・優先性(深刻度、適した機会・時期)
- ・話題性(当事者性、ニュース性)
- ・区民会議の取組として(意義や妥当性・効果)
- ・実現性(担い手・費用・手段等)
- ・共感性(やってみよう、やってみたい)

検討経過		
課題分野	課題・発生箇所	解決の方向性、取組の例や案など
自転車に起因する交通事故	<ul style="list-style-type: none"> ■自転車危険運転・違反運転 …信号無視・夜間の無灯火・スピード等 ■事故の増加・深刻化 …多額の賠償金、未成年者の事故等 	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の取組の周知・徹底 交通安全教室・活動浸透、広報強化 ・自転車保険加入の奨励・促進 TSマーク、PTA等での保険加入奨励 ・事故事例等の広報
	<ul style="list-style-type: none"> ■駐輪場利用促進…買物客一時利用等 ■自転車の安全・安心通行環境づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・駐輪場の整備・拡大 ・課題箇所マップづくり 多世代参加によるワークショップ
ルール …法令、警察取締 →周知 取締	<ul style="list-style-type: none"> ■路上駐輪…歩道・点字ブロック上等 →平間駅周辺:ガス橋～小杉方面他 ■路上陳列…歩道占拠・通行妨害 →区内商店街など 	<ul style="list-style-type: none"> ・花壇、ガードポール等 設置による駐輪防止
	<ul style="list-style-type: none"> ■ルールの周知・認知の拡大 ・携帯・傘等の「ながら運転」 …違法性の認知がない場合も多い ・自転車=(軽)車両の意識がない 	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の活動の浸透・広報強化 ・高齢者自転車安全教室 老人会等 ・自転車安全運転者証の発行／市取組 ／ボーイスカウト取組／講習会／特典等
マナー …思いやり 譲り合い 相互理解、共存、常識、他者配慮 →啓発 普及	<ul style="list-style-type: none"> ■通行マナー …並列通行、「ながら運転」 …大人(親・現役・主婦等)、 中高生 ■ながらスマホ…歩行、ベビーカー等 ■自転車マナー…過速度、歩行者無視 ■ベビーカーマナー…スピード、並列通行 ■通勤・通学時の混雑・危険運転等 →保育園送迎、出勤(小杉駅周辺等) ■マナーを“知らない”人・子ども 	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車マナー教室の開催 幼保参観日等、家庭教育学校、 小中学校成人委員会、町内会等 ・SNS等を活用したアピール 中高生向け ・ベビーカーのマナーパンフレット作成、配布 配布は健診時など活用 ・マナー喚起看板の設置 ・啓発標語の選定と活用
	<ul style="list-style-type: none"> ■自転車通行帯表示の断絶・不明瞭さ ■安全・安心な歩道の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車通行帯・案内の整備・充実 ・循環型ミニバスの検討

運営部会及び
全体会議からの視点

- 親子や大人世代の参加が重要
- 自転車保険・整備で業者と連携
- 毎月20日＝“二輪の日”
- 区のオリジナリティを出す
(既存取組の強化に留まらない)
- 警察等との連携が重要
- 子育てサロンや健診で講座展開
- 欲しくなる自転車運転者証
- 「安全運転宣言ステッカー」
(例)無灯火では乗りません
- 服装や整備等も啓発事項
- ベビーカー+自転車の資料は中原区らしい
- ベビーカーへの配慮も啓発
- 児童作品(まちづくり推進委員会のコンクール)の活用
- 小学生作品を路面上に貼付
(川崎区東門前小学校前)
- 自転車盗難多発→施錠指導
- 事故内容や検挙件数等の広報
- スライダーやキックボードも危険
- 交通安全協会等との連携等
- 行ストやワガナで外国籍の方含め、誰でも分かるように
- ルールを知らない人に知ってもらえれば一番効果が出そう
- 全て実施はできない。低予算ですぐできるものから考える
- 委員の人脈、各団体の連携につながる大きな俯瞰図を
- 各取組の担当を決めれば、いくつかつ同時進行できる
- 周知はターゲットを明確に

取組提案(まとめ)

- 1)交通安全・マナー講座の強化・拡大
 - ①訴求力・アピール力の拡大
スクエア・ストリート方式の拡大
 - ②対象の拡大
高齢者…老人会等
親子…健診、参観日、家庭学級等
中高生…集まる場等
 - ③連携の拡大
自転車業者／警察
 - 2)中原区版 自転車安全運転者証(仮)
講習会開催(上記取組との連携)
警察との連携
魅力的なデザイン・形式や特典など
※参考:ボーイスカウトの取組
 - 3)駐輪環境の整備等
花壇やガードポール設置→駐輪防止
軒下駐車場
(民地の活用・茅ヶ崎市事例)
 - 4)中原区らしい啓発資料の作成・活用
形式…動画／パンフ
内容…ベビーカー、服装・整備など
 - 5)交通安全・マナー広報の強化
標語／看板／SNS／バス車内アナウンス
／路面掲示／児童作品活用／
委員による訪問広報
 - 6)キャンペーンイベント
サイクルの日(3・19)、二輪の日(20日)
既存イベントのステージ・ブース
連携・一斉活動等
 - 7)交通マップづくり多世代参加ワークショップ
- コミュニティ・循環型バス
課題の共有と働きかけの継続
課題と意見のまとめ・整理

本日の議論

取組効果を高めるため

- ポイント整理
- アイデア出し
- 取組名称の検討

実現性を高めるため①

- 5W1H方式での整理
- いつ(時期)
When
- どこで(場所)
Where
- だれが(担い手)
Who
- なにを(内容)
What
- なぜ(目的・ねらい)
Why
- どのように(手法)
How

実現性を高めるため②

- 取捨選択
提案の絞り込み
手法の絞り込み
対象の絞り込み 等
- 優先順位の決定
取組時期
取組手順
短期／中期／長期 等

提案
絞込

区民会議報告書、区民会議だより等に
課題箇所・主な意見等を整理・発信

「地域コミュニティ、みんなで育てる交通マナー ～歩きやすいまちに～」

- ①「地域コミュニティ」の活性化・連携
- ②「みんなで」(多様な区民が共に)取り組む
- ③「相互理解、マナー、思いやり」を育む
- ④「歩きやすく、住みやすいまち」の実現